

# 会 議 録

## 第7回多可町立統合中学校開校準備委員会

多可町立統合中学校開校準備委員会  
事務局 多可町教育委員会教育総務課

## 第7回多可町立統合中学校開校準備委員会 会議録

■日 時 令和6年3月13日（水）午後7時30分～午後8時40分

■会 場 ベルディーホール会議室

■出席者 27名／29名（敬称略）

### 【委員】

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	赤松 康弘	副会長	小林 史尚	副会長	前田 洋二

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
藤原 恵美	布一 和也	橋尾 佐織	吉田 博昭	時永 尚樹
伊藤 聡	藤村 正広	嶋田 章夫	長谷川美香	伊藤 彰彦
藤本美由紀	丸山 耕市	小林 恵子	藤本典久(欠)	橋間智博(欠)
宮内かおり	徳原 友美	森野友加里	横山めぐみ	
足立 徳昭	定本 隆志	橋本 衛	荻野 学	南畝 大作
長澤 高意	神崎 進吾			

役 職	氏 名
教育長	越川 昌信

### 【事務局】

役 職	氏 名
教育担当理事兼教育総務課長	金高 竜幸
学校教育課長	吉田 勇二
学校教育課副課長	吉川 成悟
学校教育課指導主事	池田 美樹
学校教育課学校園アドバイザー	高見 英明
教育総務課副課長	山本 聡
教育総務課課長補佐	吉井 美和
教育総務課主査	有田 好孝
教育総務課主査	畑中 美穂

【傍聴人】 0名

### 【議題】

次第3. 専門部会報告・協議事項

(1) 通学部会

・進捗状況の報告（中区、加美区、八千代区）

(2) 教育・事務部会

・生徒指導部会 協議報告（体操服等の改定、制服等の着こなし）

- (3) 総務部会
  - ・校歌について
  - ・校章について

## 【会議結果】

- (1) 通学部会から進捗状況の報告を受けた。
- (2) 教育・事務部会から協議内容の報告を受けた。
- (3) 総務部会から協議内容の報告を受けた。校章デザイン最優秀作品1点を決定した。

## ■会議の経過

次第1. (事務局)	<b>開会</b>
次第2. (委員長)	<b>委員長あいさつ</b> 統合が近くなるにつれ、住民の方からたくさんの質問を受ける。関心が高いことがよくわかる。様々な意見を聞く度に、責任の重さを感じる。各部会の報告と校章デザインの投票がある。ご協力をよろしく願います。
(議長)	<b>議長(委員長)による進行</b> ○会議の成立(設置要綱第6条第2項)について →出席者27名、過半数を超えているので会議は成立することを宣言。 ○会議の公開・非公開について →公開会議とする。 ○傍聴の許可について →傍聴者0名
議事 次第3. (1) (議長)	<b>専門部会報告・協議事項</b> <b>通学部会</b> 次第3 専門部会の報告・協議事項に移る。 通学部会で協議された内容、協議結果について報告をお願いします。
(事務局)	事務局から協議状況を報告する。 資料1の3ページ。中区は、進捗状況は特になし。 加美区は、バス停及び駐輪場候補地について、神姫バスと乗り降りの場所について調整を行い、乗り降りに対する安全面、バスの運行上の不都合はないことを確認している。 次に、町有地を活用して駐輪場を整備する丹治、門村、杉原、加美JA前については、財政課と調整を進めている。使用についての支障は特になし。 次に、駐輪場用地の提供を依頼する必要がある寺内集落には、村総会(令和6年3月10日)でバスの運行計画と駐輪場として集会場の一部を使わせてほしいと説明し、集落として協力していただけるとの回答を得ている。 八千代区は、駐輪場用地の提供を依頼する必要がある下野間には、保木集会所・野田集会所の一部を駐輪場として使用させてほしいと説明を行っており、前向きな返事をいただいている。下野間に2箇所バス停を整備予定であるが、もう1箇所設置してほしいとの要望を伺っている。このような要望や調整事項については、ある程度形になった段階で、部会を再開し協議してい

	きたい。以上。通学部会の報告である。
(議長)	通学部会の報告について、何か質問や意見はないか。  (質問・意見なし)
(議長)	通学部会からの報告は以上。今回は、通学部会では報告事項のみとなっている。引き続き通学部会で協議をお願いする。
(2)	<b>教育・事務部会</b>
(議長)	次に教育・事務部会で協議された内容、協議結果について報告をお願いする。
(部会長)	資料1の4ページ 部会の開催状況について説明。 協議内容として、体操服の改定については、令和7年度新入生から新しい体操服、ウインドブレーカー、体育館シューズを購入できるように準備を進めている。教育・事務部会で選考会を実施する。 協議結果は、2月28日の選考会により事業者を決定した。体操服は「兵庫菅公学生服株式会社」、ウインドブレーカーは「兵庫菅公学生服株式会社」、体育館シューズは「株式会社上村産業」に決定。統合後もお下がりなど旧体操服等の着用は可能としている。令和7年春に納品するために、逆算すると体操服は6月末、ウインドブレーカーは3月末までに、素材やデザイン等について選定する。選定は、教育・事務部会で行う。 制服等の着こなしについては、協議内容として、新制服の着こなし、通学用カバン、通学用くつ、上履き等について協議を行った。生徒が校則(ルール)を決めていく流れをつくりたいと考えている。 協議結果として、生徒が校則(ルール)の決定に関われるように配慮する。通学用カバンは、3年生卒業後、在校生に向けて修了式までに説明する。新しい制服の着こなし、通学用くつ、校則(ルール)等は令和6年度中に3中学校生徒の話し合いにより決定する予定。
(議長)	教育・事務部会からの報告・協議結果について、質問や意見はないか。
(委員)	通学用カバンについて、いろいろと探したが、自由だと選択肢が多くて保護者として難しかった。ネットや実店舗でいろいろ見たが、結局地元の販売店でこれまでの通学カバンを購入した。保護者の希望としては、町内販売店などでおすすめのバッグがあれば有り難い。中区はこれまでどおり自転車通学なので、リュックを荷台に括りつけたときに、ショルダーベルトが自転車に掛からないようにする必要があるため、これまでどおりのポストン型のカバンを選んだ。また、家庭の状況によっては買いに行けないご家庭もあることから、自由だとしても町内販売店で購入できた方がよいと感じた。
(部会長)	貴重なご意見ありがたい。自由にすると選択肢が増えて迷いが生じるため、指定してはどうかという意見があった。しかし、加美区や八千代区では通学方法が在学中に変わることで、部活動の地域移行により持って行く荷物も変わることなどが考えられる。また、高校へはリュックで通学している生徒が多いため、長い目で見て、中学校統合時に高校進学を見据えて買い替えることで無駄なくスムーズに移行できるのではないかと思います。このようにいろいろと検討したが、やはり通学用カバンを学校が指定することは難しいと判断し、通学方法や生活スタイルなどに合わせて、ご家庭で検討していただきたいと思います。

(委員)	自由にしたことにより、子どもたちの間で持ち物による格差が生まれないか懸念がある。難しいとは思いますが、保護者としてはできれば指定してほしい。このような意見があることをみなさんと共有できたと思う。
(議長)	学校は、保護者の方からこのような意見があるということも踏まえて、今後いろいろなことを検討して行ってほしい。
(議長)	他に無いようですので、教育・事務部会からの報告は以上です。
(3)	<p><b>総務部会</b> 次に総務部会で協議された内容、協議結果について報告をお願いする。</p>
(事務局)	<p>資料1、総務部会からまず校歌の制作について、作詞・作曲の先生方との調整状況について報告する。</p> <p>作詞については、総務部会において、子どもたちの意見を聞きながら、その思いやフレーズを校歌に反映させてほしいとの要望があった。と同時に、吉田田タカシさんから、中学生や町の人を巻き込みながら作詞をしたいとの提案もあり、学校と相談し、7月31日にワークショップを開催する予定である。子どもたちがリラックスできる場所として、古い家を改装した町屋風の「Kaji 家」において実施する。実施方法などについては今後吉田田さんと調整を行う。</p> <p>作曲については、尾崎先生が3月11日に来庁され、教育長から正式に作曲を依頼し、具体的なスケジュールの確認を行った。尾崎先生から、ピアノ伴奏だけでなく、吹奏楽用の楽譜も必要だろうとの申し出をいただき、合わせて依頼した。</p> <p>スケジュールについては、作詞はワークショップなどを行いながら令和6年12月頃の完成を目指す。作曲は、令和7年1月ごろから令和7年夏頃の完成を目指す。その後、ピアノ伴奏や歌唱練習を行い、令和8年春、開校式で披露することを目標に進めていく。</p> <p>次に、校章について報告する。</p> <p>応募総数367点、42都道府県から応募があった。委員のみなさんと話し合いながら第1次選定、第2次選定を行い、優秀作品として6作品を選定した。(非公開)。</p> <p>協議結果として、6点以外の情報は、応募者、選定者両者を守るために公表しないとしたので、ご理解いただきたい。そして、最優秀作品1点のみデザインと氏名を公表する。優秀作品は氏名のみ公表。デザインは公表しないとして協議した。</p>
(事務局)	<p>ここで、事務局から提案、協議をお願いしたい事項がある。</p> <p>それは、「優秀作品は氏名のみ公表。デザインは公表しない。」ことについて、選定されなかった作品についてまで、氏名の公表が必要かどうかについて協議をお願いしたいと思う。</p> <p>改めて調べると多くの自治体は、最優秀作品1点についてのみ、校章デザインと氏名の公表をしている。氏名や住所は個人情報であり、選定されなかった作品の氏名まで公表することは、応募者にも、開校準備委員会にもメリットはないように思う。優秀作品5点には記念品を贈りますが、商品の発送をもって発表に代えさせていただくことに変更してはどうかと考えている。事務局からの提案として、委員のみなさんにご協議いただきたいと思う。</p>
(議長)	校歌の進捗について報告があった。また、事務局から校章デザインの公表の方法として、最優秀作品1点だけ氏名を公表し、あとは氏名も公表しないに変更してはどうかとの提案があった。協議をお願いする。

(委員)	<p>前回の委員会でそのように決まったが、このようなコンペ方式による決定事項の公表は、やはり最優秀1点のみの公表が一般的だと思う。他市町の事例も調べてみると最優秀作品1点のみの公表が多いとのことなので、事務局の提案どおりでよいと思う。</p>
(議長)	<p>一般的な事例を見てみても、優秀作品1点のみの公表が多いようであるが、その他意見はあるか。</p>
	(意見なし)
(議長)	<p>それでは、事務局の提案どおり、最優秀作品以外の選定されなかった作品については、デザインも氏名も公表せずに、記念品の発送を持って発表に代えることでよろしいか。</p>
	(承認)
(議長)	<p>それでは提案どおりとする。</p>
(議長)	<p>総務部会からの報告・協議結果について、他に質問や意見はないか。</p>
	(意見なし)
(議長)	<p>それでは、校章デザインの投票に移りたいと思う。事務局から、投票の手順や注意事項について説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>資料2より。まず、第6回開校準備委員会で校章デザインを6つまで絞り込んだことを報告した。総務部会では、本日の投票に向けて最終選定の方法について確認をした。</p>
(事務局)	(作品紹介)
(事務局)	<p>資料3より。1ページ目が開校準備委員会で承認いただいた校章デザインの選定要領。2ページ目は、学校名を決めた方法と同じ方法だ。最終選定に向けて、いろいろなケースを想定し協議した。まず、最終選定は開校準備委員会委員29名の投票で1校章デザインを決定する。</p> <p>本日の有権者数は出席者が27名なので、有権者数は27名。そして投票は、議長を除く26名が投票し、過半数は14名となる。6つの校章デザインから、過半数の票14票を得た校章デザインを校章デザイン(候補)として決定する。仮に、過半数の票を得た校章デザインがない場合は、得票数の多い上位2校章デザインを対象に再投票を行い、得票数の多い校章デザインを校章デザイン(候補)と決定する。仮に、過半数の票を得た校章デザインがなく、得票数が同数の場合は、第2次選定で得票数が上位の校章デザインを上位とする。最後に、上位2校章デザインによる再投票において、同数の場合は、議長の投票により決するとしているが、他の事例を参考に、まずは委員みなさんの意見を聞いたり、協議したりしながら選定方法を決定することができるようにしている。また、票が割れるなどこれ以外のケースについても、その都度委員のみなさんと協議し、みなさんが納得した形で、校章を決定できればよいと考えている。本日はこの手順により校章デザインを決定していただきたいと思う。</p>
(議長)	<p>投票方法や6つのデザインについて何か質問はありませんか。</p>

(委員)	資料3の選定要領の中で、「5作品の中から」とあるが、6作品なので訂正の必要があるのではないか。
(議長)	「約5作品」としているので問題はない。
(委員)	白黒の作品は、これに色が付くことを想定して投票するのか。
(事務局)	作品は、応募されたそのままを提示している。改めて白黒デザインをカラーにする想定はしていない。そのまま選んでいただきたい。
(議長)	<p>それでは、投票を行う。</p> <p>本日の有権者数は出席者が27名。有権者者数は27名。そして投票は、議長を除く26名が投票するため、過半数は14名となる。過半数の14票を得た校章デザインを最優秀とする。</p> <p>それでは投票用紙を配付する。配付された投票用紙には6つ校章デザインが書かれているので、ふさわしいと思う校章1つに大きく○をつけること。事務局が投票箱を持って回るので、その場で投票をお願いします。その後、集計し、得票数を発表する。その後は、先ほど説明した手順に従って進めたいと思うのでよろしくお願いします。</p> <p>(投票の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投票用紙回収</li> <li>・委員長、総務部会長立ち会いのもと、公開により開票</li> <li>・事務局集計</li> </ul> <p>(投票結果発表)</p>
(議長)	投票結果を参考に、委員の話し合いにより決定するとなっている。意見はあるか。
	(意見なし)
(議長)	それでは、令和8年4月に統合する新しい中学校の校章デザインは、投票結果のとおりとする。みなさんの拍手を持ってご承認いただきたいと思う。
	(採決 拍手)
(議長)	校章デザインについてご承認いただいた。感謝申し上げます。
(議長)	最後に全体を通して、質問や意見があったらお願いします。
(委員)	教育・事務部会の内容については、関われる部分ではない。本日の議題でもないが、小小連携、小中連携、中中連携の項目の中で、来年度小学校5校が合同で自然学校に行くと言った。統合するので、交流や連携し、一緒に行くことは良いことだと思う。行き先で優劣を付けることは良くないことだと思うが、今まで淡路島に行っていたが、行き先が変更になったと言った。コロナで日程が変わるなどいろいろあったにせよ、これまで上級生や兄弟が行っていたところへ行くということは、思い出、記憶の共有になっていると思うし、続いているということは下級生も自分たちも同じ事ができるという期待権を持っていると私は思っている。昨年度は中区、加美区は淡路島へ、八千代区は嬉野台へ行ったが、統合した時に八千代区だけ違うところへ行くと言った話と合わないのではないかと理由で、今年度は加美区と一緒に淡路へ行ったと理解している。いろいろ協議をされていると思うが、行き先を変更す

るならもう少し丁寧に説明されるように期待したい。グレードアップする、良くなることを期待して統合が進められていると思うので、統合するにあたって行けると思っていたのに行けなくなったという思いは、子どもたちの中に少なからず出てくるのではないか。いろいろと課題があると思うが、連携するに当たっては、統合に向かっていろいろやっていくからには、良くなったなという実感が沸くように検討をお願いしたい。

(委員)

おっしゃるとおり、兄弟が同じ場所に行けないとなることはある。自然学校も30年以上続いている中で、どの学校もいろいろと場所も変更されている。子どもたちが自然学校の4泊5日をどう過ごすのかを考えた上で、今の時代に淡路でそれだけ過ごすことが、いざというときの安全のためにも本当に良いのかどうか検討した。子どもが熱を出すこともある。保護者が往復5時間かけて迎えに来ることをお願いしている。それよりもみんなが一緒に生活できること、統合のことも含めて、小学校長会でも何度も協議しながら、できるだけ早く合同で行くことがよいと考えて決めているので、子どもたちが統合して良かったと思えるようにするための大切な一歩。これまでと違ったことをするために一歩踏み出すことは勇気のいること。5校が一つになることは、これまでやったことがないことなので、そこに踏み込むということをもみんなと協議した上で決めた。八千代小学校の時に、嬉野台で自然学校を行ったときは、命に関わることもあるため、対応を何度も協議し、他のいろいろな施設を見て、当時も嬉野台がよいと判断した。嬉野台に行ったことで、そこでできるプログラムなどをみると、小学生にとって重要なことがあるし、中学校は嬉野台で自然学校はしないが、中学校でも活用しているプログラムもある。いろいろなことを含めて、中学校の意見を聞きながら小学校でも早いうちから5校の子どもたちが一緒に過ごせること、中学校に向けて、統合に向けていろいろなプログラムを作成している。安全第一で取り組んでいる。その結果は、取り組んでいる最中なのでわからないが、5小学校とも了解の上でやっていく。子どもたちは確かに同じ場所に行けないということはあるが、それは過去にもあった。そのことよりも子どもたちの活動を充実させていくことが大切だと思っている。ご理解いただきたい。

(委員)

決まっていることについては理解する。今後の検討課題としてほしい。

(委員)

入学式は小学校と中学校が同じ日になっている。小学校と中学校にお子さんがある場合、統合すると杉原谷校区や八千代校区からだとして、これまで以上に時間がかかると思う。余裕を持った時間帯にするなど配慮してほしい。

(委員)

現在は小中学校が同じ日の午前中に時間をずらして行われている。統合すれば保護者の移動距離も延びるし時間もかかる。小学校と中学校の入学式を同日開催するかどうかも含めて、ご意見を生かしながら安全に移動できるよう配慮したい。

(議長)

このような課題が統合に向けてたくさん出てくると思う。今後も継続してみなさんと考えていきたいと思う。

(議長)

以上で議事を終わらせていただく。委員のみなさんの協力に感謝する。

(事務局)

全ての議事について慎重審議いただいた。特に校章デザインを決定していただいた。広報たか4月号に掲載し、周知を図りたいと思う。最優秀作品の方には賞金10万円を、優秀作品のみなさんには記念品を贈る。



<p>4 . (事務局)</p> <p>(事務局)</p> <p>(教育長)</p> <p>5 . (事務局)</p> <p>(副委員長)</p>	<p><b>その他</b></p> <p>事務連絡を3点。 今後の予定については、第8回開校準備委員会を日時は令和6年6月6日(木)午後7時30分から、場所は、ベルディーホール会議室。後日通知する。 委員の改選については、それぞれの団体の事務局と相談し、スムーズに委員の交代を行ってほしい。ただし、交代される委員のみなさんは、引継ぎはしっかりと行っていただきたい。特に来年度はPTA部会を新たに立ち上げる。3つの中学校のPTAのルールを統一し、新しいルールについて協議を開始する。 委員報償費については、委員報償費をご指定の口座に3月末ごろ振り込む。</p> <p>ここで、教育長より一言お礼申し上げます。</p> <p>2年前の10月から、あるいはこの4月から、委員会や部会に所属していただき、慎重審議を重ねていただいた。おかげをもって、新しい中学校の学校名、制服、校歌の作詞・作曲者、校章が決まったり、通学路についてご検討いただいたり、様々なことを決めていただいた。その結果は、広報たかなどを通じ、町民のみなさんへお伝えできた。大変感謝している。いよいよ令和6年から新しい中学校の建設が始まる。令和8年4月には開校できるように、これからも着々と準備を整えていきたいと思う。令和6年4月から委員を離れられる方もいらっしゃるが、これからもそれぞれのお立場で、ご支援をお願いしたい。</p> <p><b>閉会</b></p> <p>それでは、閉会にあたりまして、副委員長より閉会のあいさつをお願いする。</p> <p>交代される委員もあると思うが、子どもたちのためにいい学校をつくっていききたい。今後ともよろしく願います。</p>
---	--